

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公表番号】特表2008-546550(P2008-546550A)

【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-518178(P2008-518178)

【国際特許分類】

B 2 4 B 37/00 (2006.01)

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

C 0 8 J 9/12 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 37/00 N

B 2 4 B 37/00 P

H 0 1 L 21/304 6 2 2 F

H 0 1 L 21/304 6 2 1 D

C 0 8 J 9/12 C F F

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月22日(2009.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

前記微細多孔質ポリマー発泡体が、少なくとも 10^5 気孔 / cm^3 の平均気孔密度を有する、請求項 1 に記載の研磨パッド基材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

本発明の研磨パッド基材の多孔質材料は、任意の適当な密度及び気孔体積を有することができる。典型的に、多孔質材料は、 $0.2 \text{ g} / \text{cm}^3$ 又はそれよりも大きい密度（例えば $0.3 \text{ g} / \text{cm}^3$ 又はそれよりも大きい密度、又は $0.4 \text{ g} / \text{cm}^3$ 又はそれよりも大きい密度）、好ましくは $0.5 \text{ g} / \text{cm}^3$ 又はそれよりも大きい密度（ $0.7 \text{ g} / \text{cm}^3$ 又はそれよりも大きい密度、又は $0.9 \text{ g} / \text{cm}^3$ 又はそれよりも大きい密度）を有する。気孔体積は典型的に、95%又はそれ未満（例えば75%又はそれ未満、又は50%又はそれ未満）、好ましくは25%又はそれ未満（例えば15%又はそれ未満、10%又はそれ未満、又は5%又はそれ未満）である。典型的に、多孔質材料は、 10^5 気孔 / cm^3 又はそれよりも大きい気孔密度（例えば 10^6 気孔 / cm^3 又はそれよりも大きい気孔密度）を有する。気孔密度は、多孔質材料の断面画像（例えばSEM画像）を、画像解析ソフトウェアプログラム、例えばOPTIMAS（商標）画像処理ソフトウェア（Media Cybernetics社）、IMAGEPRO（商標）画像処理ソフトウェア（Media Cybernetics社）、及びCLEMEX VISION（商標）画像処理ソフトウェア（Clemex Technologies社）によって解析して決定できる。